

# 目指せ！ 銚子をジオパークに！

## 「ジオパーク」活動⑥

### 銚子をジオでつなげよう！



▲ジオサイトの解説をする銚子ジオパーク推進市民の会ボランティアガイド(写真右から5人目) 郷土愛を原動力に、それぞれの得意分野を活かした魅力的なガイドを行っている。

ジオパーク活動で銚子はどう変わっていくのでしょうか？

ジオパーク活動の理念は、大地の遺産の「保全」と「教育」、「ジオツーリズム」の3本柱です。

「保全」とは、地層などの大地の遺産の価値を地元に住む人がよく理解し、大切に遺していくことです。

「教育」とは、その価値を分かりやすく伝え、普及活動に活用していくことです。

「ジオツーリズム」とは、来訪者に銚子の魅力を感じてもらい、地域振興に結び付けていくことです。

全国のジオパーク関係者の中には、ジオパークについて「先祖から預かったこの地が、どんなに大切なものかをよく理解し、よその人に自慢し、飯のタネにもしながら、子孫に遺していく活動」と言い換えて伝えている人もいます。

つまりジオパーク活動とは、ジオパークという仕組みを利用して、楽しみながらより良い銚子の姿を考え続けていく活動のことなのです。日本ジオパークに認定されることが目的・ゴールではありません。

これまで銚子では、まちの魅力を発信するために、さまざまな活動が行われてきました。ジオパーク活動では、観光も産業も自然も歴史も、銚子の大地をキーワードとして結びつけ、一体となって取り組んでいこうとしています。

こうした活動により、銚子の元気が復活し「銚子再興」となり、さらには「銚子最高」へと変わっていくことでしょう。

その第一歩として、地元に住む私たちが、銚子を楽しむことが何よりも大切です。そうすることによって、アイデアが生まれ、人が集まり、活動が持続していくのです。

その第一歩として、地元に住む私たちが、銚子を楽しむことが何よりも大切です。そうすることによって、アイデアが生まれ、人が集まり、活動が持続していくのです。

## 今月の表紙



5,555発が夜空を彩る 銚子みなとまつり

市最大の夏祭り「銚子みなとまつり」が8月4日(土)・5日(日)に開催されました。総勢約千人の踊り連による「やっぺおどり」、昨年より約1000発多い5555発が夏の夜空を彩った花火大会、そして祭りの最後を飾った「みこしパレード」。2日間て約9万人の人出でにぎわいました。

## 表紙の題字

### 第34回明るい選挙推進市民書道展 入賞者に依頼

掲載号	氏名	学校・学年	賞名
9月号	いちた 市田 歩愛	明神小・5年	市長賞
10月号	こすぎ 小菅 莉奈	市立銚子高・1年	市議会議長賞
11月号	いもりみゆき 飯森美由紀	銚子四中・2年	教育委員会教育長賞
12月号	すずき 鈴木 たいせい 大生	双葉小・4年	選挙管理委員会委員長賞
平成25年1月号	すずき 鈴木 ももか 季佳	双葉小・6年	明るい選挙推進協議会会長賞

※学校・学年は平成24年3月1日現在

## 人のうごき ～市の人口に外国人住民が加算～

7月9日から外国人住民の方に住民票が作成され、今月号から約1,800人の外国人住民が人口に加算されています。

人のうごき 平成24年8月1日現在 カッコは前月比

■人口 69,603人(+1,756人) ■男 33,670人(+863人) ■女 35,933人(+893人) ■世帯 28,125世帯(+1,205世帯)  
7月中の人口動態 ●出生39人 ●死亡71人 ●転入など1,938人 ●転出など150人

